

# 講演

## 大阪湾北部海域における監視・情報提供体制の強化について (第102回月例会)

平成30年9月、台風21号の影響により関西国際空港周辺海域に錨泊していたタンカーが走錨し同空港連絡橋に衝突した事故が発生しました。

海上保安庁では同種事故の再発防止のため、同空港周辺海域を含む全国の臨海部に設置される重要施設周辺海域においてレーダー等による監視・情報提供体制の強化を推進したほか、海上交通安全法等の改正により走錨に起因する事故防止の措置を講じました。

令和5年3月12日、大阪湾北部海域における監視・情報提供体制の強化の一環として、大阪湾海上交通センターが神戸市ポートアイランドに移転し、機能強化を推進しました。

第五管区海上保安本部におけるこれまでの取組と今後の新たな業務等について講演していただきます。

### ■講師

第五管区海上保安本部交通部  
航行安全課 専門官 上原 干城 氏

### ■開催日時

令和5年9月28日(木) 15:00~16:00頃まで

### ■開催場

神戸市中央区東町115番地 神戸市中央区文化センター 10階  
1001-1002会議室(定員 50名)



### ■主催

公益社団法人 神戸海難防止研究会(担当: 渡川又は藤原)  
電話 078(332)2035

**入場無料(定員50名)**

日本海事センター



補助事業